

とねやま

編集・発行

大阪府立刀根山支援学校 PTA
本校教育部・訪問教育部
☎06-6853-0200
大阪精神医療センター分教室
☎072-847-6951
大阪大学医学部附属病院分教室
☎06-6876-5229
関西医科大学総合医療センター分教室
☎06-6995-5215
関西医科大学附属病院分教室
☎072-845-7033
<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-ty/>

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。この3年間たくさん学び、多くの人と関わり、多くの経験をする事ができたと思います。とりわけ苦労した体験は、自分を強くし、身も心も成長させてくれます。相手の立場や気持ちを考えられるようになり、その後の人生を乗り越えて行く力にも結びつきます。失敗を恐れず、多くの経験から多くのことを学んでください。この3年間で身につけたものを、今後の人生で活かしていき、自分の選択に自信と責任をもって、しっかりと歩いていってください。

PTA会長 河西 ゆかり

令和4年度は、皆さんにとってどのような年でしたでしょうか。今年度も、この新型コロナウイルスは、日常生活はもちろん、学校生活、そして社会全体に大きな影響を与えた1年でした。しかし、日本政府も新型コロナウイルスの分類を本年5月に2類から5類へと移行すると発表しました。このことは、マスクを付け、人との距離を保たなければならない生活が当たり前になっている我々の生活を変化させてくれるのでしょうか。刀根山支援学校では、病気のある子どもたちが在籍し、治療を続けながら、日々の学習を頑張っています。5類への移行によって、国としての対応は大きく変化しますが、本校では、今後も病院と連携し感染症対策には、慎重な対応を行っていく必要があると考えています。その様な中、今年度は、刀根山支援学校の各分教室、各病院で学習している児童・生徒の皆さんが、Web を活用し一つの行事でつながる機会が何度かありました。これまで、各部署にて行われていた行事が、それぞれの場所に居ながら Web を通して参加できたのです。病気の種類は様々ですが、それに立ち向かう姿を互いに感じることは、よい刺激となりました。学年は違えど、「あんなに頑張っている人がいる」、「あんなにすごいことができるんだ」、「そんな考え方ができるんだ」といった感想を寄せてくれました。人は、どのような社会の中でも、人と関わり、学び、成長していくものです。数日後には、新しい進路や学年に進み、新たな人との出会いが皆さんを待っています。4月からの新しい生活が皆さんにとって素晴らしい1年となりますよう心から祈っています。

校長 高河原 健

卒業生へのメッセージを各分教室よりいただきました

高等部卒業を迎えて

ご卒業おめでとうございます。コロナで入学式は7月になり、授業もオンライン、外出もあまりできないなどありました。それでも新しいことや苦手なことに挑戦し、成長していく姿を見て先生たちはとても元気をもらいました。これからどんどん挑戦していき、人を巻き込んでいってください。本校教育部教職員一同

ご卒業おめでとうございます。卒業されるみなさんはそれぞれ歩む進路は違いますが、春4月新たな出会いの中、明るく、楽しく、笑顔いっぱい過ごしていってくれることでしょう。応援しています。

訪問教育部教職員一同

ご卒業を祝し、新しい門出にエールを送ります。おめでとうございます。これからも、自分の目標に向かって、チャレンジを続けてください。みなさんが充実した人生を送られることを心からお祈りしています。

事務室一同

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。刀根山での学びを胸に、新たな世界で大きく羽ばたいてください。関西医科大学総合医療センター分教室教職員一同

卒業おめでとうございます。長い入院生活の中で多くの友達や家族などと話をしたくてもできず、たくさんのことを我慢して長い治療の日々を送っていましたね。でも、そんな中だからこそ、今までは当たり前と思っていた学習ができるということや友達に思いを話せることの大切さを学んだと思います。分教室で学んだこと、先生たち友達と話したことが治療に取り組む前向きな力になり、そして今後の人生の糧になってくれたらいいなと思っています。これからもますます成長していく君たちに、期待していつまでもエールを送り続けたいと思います。

阪大分教室教職員一同

卒業おめでとうございます。卒業後もどんどん成長していくと思います。それに伴って楽しいことばかりではなく、苦しいことや辛いことも目の前に立ちふさがるかかもしれません。でも、何があってもきっと乗り越えて行けます。今後の更なる成長や活躍に期待しています。

精神分教室教職員一同

「ご卒業おめでとうございます。今後も多くの人々と出会い、新しい経験を積み重ねていってください。」

関西医科大学付属病院分教室教職員一同

本校教育部

☆☆文化祭☆☆

12月10日(土)に文化祭が開催されました。「輝跡～未来に駆けて征け～」というテーマで約2か月間準備をしてきました。午前の部では「takefoの縁日」(縁日)、「囚われた先生を救え」(謎解き)をしました。どちらも大盛り上がりでした。午後の部では5つの演目を行いました。「軌跡 de 輝跡」では光の軌跡を写真に撮り、観客の方々と一緒に作品を作りました。「トネポケのコント」では先生も含め3人で「遅刻」というタイトルのコントをしました。「マジシャン mutou のミラクルショー」では、高2の生徒がマジックを披露してくれました。「成長のキセキ」では訪問教育部の生徒も含め3人の生徒が「成長」というテーマでプレゼンテーションを発表しました。

「takefoの歌」では、高3の生徒が歌を披露しました。どの演目も、笑いあり涙ありで、最高の文化祭となりました。



☆☆進路講話☆☆

1月24日(水)に、本校教育部の卒業生である西村泉さんに来校していただき、進路講話「みんな違ってみんないい～『夢』という花を咲かせましょう～」をしてもらいました。西村さんは重い身体障がいがありながらも、ヘルパーを活用して一人暮らしをしたり、分身ロボット「OriHime」を使ってロボットカフェで働いたり、障がい平等研修ファシリテーターとして活動されたりするなど、数々の夢を実現してきた方です。本校教育部の生徒たちは、真剣に話を聴き、将来の自立について考えを深めることができました。実際に OriHime を操作する体験もさせていただき、とても盛り上がりました。

また、2月7日(火)に、滝井分教室の卒業生である濱田詩音さんに Zoom で進路講話「私の説明書」をしていただきました。濱田さんは現在、ICTのスキルを磨く専門学校の3年生で、プログラミングの知識を活かしてゲーム制作に力を入れています。個人の力だけでなく、仲間とともにゲームを作り上げる楽しさ、喜び、そして難しさを伝えてくれました。将来、パソコンを使った就労をめざす本校教育部の生徒たちにとって、興味深い話ばかりで、大きな学びがありました。

訪問教育部



☆愛仁会リハビリテーション病院☆

うれしい報告をさせていただきます。外国で生まれ育ったわたしは母親として、障がいをもっている娘にも高校に行かせたいとずっと心の中で思っていました。この気持ちを去年の夏休みに先生方に伝えました。あれから半年の間に、先生方が何度も打ち合わせのセッティングをしていただき、一生懸命動いてくれたおかげで、ようやく今月府内の支援学校高等部に入学の申請ができました。親子ともども大変うれしくおもっております。ありがとうございました。 中3 保護者



☆国立循環器病研究センター☆

刀根山の授業を通して、理科が好きになりました。また、いろいろな行事に参加して、忙しかったけど達成感、充実感がある学校生活を送ることができました。中でも生徒会のノートのやり取りが、楽しかったです。生徒会のノートとは、小、中、高等部の生徒会役員たちが、やり取りをしているノートのことです。画面上でしかしゃべったことがなかったけれど、そのノートを使って仲良くなれました。文化祭では、パワーポイントを使って、自分の成長について発表しました。とても緊張したけれど、ミスもなく、イメージ通りの発表ができました。これが学校生活の中でも一番、達成感がありました。

刀根山支援学校のおかげで、入院していても学問に取り組むことができたし、何より授業がとても面白いし、わかりやすかったので、勉強することが好きになりました。高校生になったら新しい学校ですが、来年度も、楽しい学校生活を送れるように頑張っていきたいです。 中3 E・T

大阪精神医療センター分教室 (精 神)

☆☆雪遊び☆☆

1月。精神分教室では何年かぶりに雪が積もり、朝から一面真っ白の雪景色でした。

小学部では、1～6年生全員で雪の作品作りをしました。小さな雪玉から始めて、最終的には自分の顔よりも大きな雪玉になったり、ウサギの長い耳がついた雪だるまだったり。分教室の周りにはたくさんの作品が並びました。実際に触った雪の冷たさにびっくりしたり、「手が痛い」と言ったりしていましたが、決められた時間までみんな夢中になって作品作りを楽しんでいました。



☆☆わにタイム☆☆

自立活動の一環として行っている「わにタイム」は、毎週4回、5時間目の前に実施しています。小学部と中学部一緒に、教室の中や分教室の外で様々なゲームをし、友だちとルールを守って遊ぶ楽しさを学習しています。

2月に初めて行った「わにキャップシューティング」ゲームは、中学部の生徒が考えた遊びです。ペットボトルキャップを入れる的（カゴやボックス）を準備したり、投げ方や得点、ルールなどを決めたりと、楽しいわにタイムになるよう事前に準備をしてくれました。

実際に遊んでみると、最高得点110点を出したのも中学生。さすがの大活躍でした。

小学生からは、「またやりたい」の声が出ました。



大阪大学医学部附属病院分教室 (阪 大)

☆T-NET がありました☆

1月27日（金）にT-NETがあり、Jenneffer先生が来校されました。小学部では、「動物クイズ」、中学部では、「数字暗号ゲーム」を行いながら、英語のオンライン学習をしました。

動物の鳴き声の聞こえ方が国によって違うことを学んだり、英語で数字を聞き、裏に書かれている文字をあてたりと、楽しい時間を過ごすことができました。



☆小学部「朝の会」での取り組み☆

朝の会での毎日の取り組みを2つ紹介します。

○ゲーム

毎日、4つのゲームの中から、1つ選んで取り組んでいます。どのゲームにするかは、その日の当番が選びます。選び方の1つとして、教員がScratchで作った、オリジナルのくじびきを使うこともあります。子供達みんなが笑顔になり、楽しめる時間です。



○本日のニュース

DropNewsで毎日配信されるニュースを子供達と共有しています。簡単な言葉とイラストで説明があるので、興味をもってニュースに触れることができます。



☆卒業お祝い制作（壁面）☆

卒業を祝う会に向けて、壁面の制作を行いました。紙をちぎったり、貼ったりして、みんなで1つの作品をつくりました。皆の思いが卒業生に届きますように。



すごろく対決～ 皆が楽しめるネタ作り～

自立活動の時間にすごろくを作りました。自分たちでネタ、コマ、配置などを決めました。ネタ作りでは、罰ゲームで辛いものにならないよう工夫を加えて。生徒のアイデア力が光りました。

実際プレイすると絶妙な所に「奇数が出たらそのまま、偶数が出たらスタートに戻る」や「15秒間で『あ』から始まる言葉を10個言えたら3マス進む」「左隣に座っている人のコマをここに連れてくる」などのおもしろい発想のネタもあり、大いに盛り上がりました。

このすごろくのどこを改善すればもっと楽しくなるのかなど児童生徒どうしの話し合いもして、達成感や喜びを皆と共有できる時間となりました。



明るさの調節と換気～ 一番いい換気方法は？～

今月の保健指導では、いつもは他の分教室の保健室にいる登坂先生が授業を行いました。

テーマは「明るさの調節と換気」。新型コロナウイルス感染症に加えインフルエンザも注意を要するこの時期。

どのように換気すればよいのか、四択クイズが出されました。

答えは「(教室で換気口を二か所設けるとして)何も置かないよりもホワイトボードなど、ものを互い違いに二つ置く方が、空気の流れが良い」です。

児童生徒たちはびっくり。その後休み時間に実際にホワイトボードを動かして試すなど、自分たちのためにもなる授業となりました。

過ごしやすい明るさを測る照度計を見て機械好きの子どもたちは興味津々。実際に自分たちで測定してみました。

新たなことを知る、非常に有意義な時間になりました。



📖 書き初め ✍️

新年最初の掲示板に、「書き初め」を展示しました。書かれているのは子どもたちの「今年の目標」です。小学生は好きなことをもっと上手にできるようにと願いを込めて、3年生に進級する中学生は「受験勉強をがんばる」と決意を書いてくれました。ウサギのように、飛躍する一年になるといいですね。



オンラインツアー ～沖縄&北海道～

今年度は、2学期に沖縄、3学期に北海道のオンラインツアーに参加しました。訪問教育部との合同企画です。

沖縄のテーマは海！ダイバーさんが映した動画を見ながら、さまざまな生き物について解説してもらいました。ジンベエザメやマンタが実際に泳いでいる姿は迫力がありましたし、色とりどりのかわいらしい魚たちも見ることができました。クイズや質問コーナーもあり、「クジラを見たことはありますか？」「おすすめの食べ物はなんですか？」などたくさん質問に答えてもらいました。

北海道の回では、知床の自然とアイヌの文化について学びました。積もった雪に寝転んだり、雪の滑り台を滑ったりする様子を楽しそうに見ていました。一方で、流氷が年々小さくなっており、25年後には見られなくなるという話には、考えさせられた様子でした。アイヌの歴史や文化についても分かりやすく説明してもらい、アイヌ文様に込められた意味やアイヌの言葉を知ることができました。

日本の北と南、それぞれの素晴らしいところをたくさん発見できました。

記念のペンダントです。
気に入って、毎日首にかけて
過ごしています！

